

おとうさんのごはん



ねん くみ ()

「きょうは、おとうさんが ごはんを つくろうかな。ママの すきな オムライスを つくろう。」

「わーい、やったあ！」

ママの おとうさんが、だいどころで りょうりを はじめました。おとうさんは、しごとが やすみなので、はりきっています。

レシピを みて、2じかんくらい かけて、オムライスをつくりました。

たまごから、ほかほかと ゆげが たっています。

「わあ、すごい。おいしそう。」

「そうだろう？ とくせいオムライスだぞ。」

パクリ。

もう一口、パクリ。

——でも、あまり おいしくありません。ちょっと からくて、のみこむのも ひとくろうです。もしかすると、さとうと しおを まちがえたのかもしれない。

「どうだ？ おいしいか？」

おとうさんは、めを キラキラさせています。

「えーっと——。」

ママは、なんと いえば いいのか、こまってしまいました。



ママは、「おいしい。」と いうべきでしょうか。「おいしくない。」と いうべきでしょうか。あなたの かんがえと りゆうを かきましよう。

<p>.....</p> <p>.....</p>

はなしあって かんがえたことを かきましよう。

<p>.....</p> <p>.....</p>
